

現在の会員数 一般会員 141名 団体会員 7団体 協力会員 10名 (令和元年7月現在)

## 講演会の報告 (第34回会員集会)

日時: 令和元年11月16日(土)13時30分~15時50分

場所: 日本水道会館 7階会議室

講演①: 「日本の水道・過去から未来へ」

(講師: 杉戸大作 様 [元厚生省 水道環境部長])

講演②: 「水道電気システムのあゆみ —50年の革新—」

(講師: 依田幹雄 様 [㈱日立製作所 社会システム本部 技術主幹])



杉戸講師

依田講師

講演①では、杉戸講師がご自身の経歴を振り返りつつ、昭和51年に厚生省が通知を发出した有効率90%以上という目標設定や昭和60年の湖沼水質保全特別措置法の制定に至る経緯などのエピソードを紹介。ご趣味である囲碁を介して当時のキーマンと人間関係を構築するなど、今だからこそ聞ける逸話が散りばめられた興味深い話題を提供頂き、結びに未来への提言として、複数の水系を結ぶ連絡水路の建設、市民の理解を得た上での水道料金の改定を主張されました。

講演②では、依田講師が制御用計算機や配水コントロールシステム、水道検針やマッピングシステム、浄水場ブロックや原水急性毒物の監視システム、AIを応用した水需要予測システムなど50年間における技術革新の経過を説明。また、ご自身が深く関与した電気学会・公共施設技術委員会と公共設備技術士フォーラムの活動経過に加え、JST(科学技術推進機構)

の水利用CREST(戦略的創造研究推進事業)の副研究総括としての苦労話などを披露され、結びに「(今後は)他分野に勝るさらなる革新を期待したい」と聴講者に呼びかけられました。



会場の様子

## 定例幹事会の報告

日時: 令和元年11月16日(土) 11時~12時

場所: 日本水道会館 7階会議室

議題: 1. 「水道を語る」の発刊報告 2. 次回の講演者について 3. 次々回のテーマについて 4. その他

## 編集後記

構想から約1年の歳月を経て「水道を語る」が発刊されました。「水を語る会」10年の歴史の中で語られた珠玉のエピソードを収録しています。当面は会員集会の会場にて販売する予定ですので、是非ご一読下さい。

引き続き「水を語る会」の活動に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(幹事 名取大輔)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>

以上